

第3回クラブフォーラム「職業奉仕」 職業奉仕委員会担当
フォーラムテーマ

会員同士が集い学ぶ!!～ 一人ひとりが実践する職業奉仕～



フォーラム主催者挨拶 佐藤 裕彦 RI情報・ラーニング委員長



本日は職業奉仕についてのフォーラムです。職業奉仕は、ロータリーの樹でいう一番大切な幹の部分になります。ロータリー自体を強くしていくために、本日はこの部分をどのように大きくしていくかについて解いていくような会になればと思います。本日も前回のフォーラムと同じく、各テーブルで話し合い、ファシリテーターの方に意見をまとめて発表していただきます。

フォーラムリーダー主旨と進行説明 中根 研一 職業奉仕委員長



先週の職業奉仕の例会で久乗様からお話をいただいた内容について少しご披露したいと思います。
老舗企業でもお客様を大切にするという精神はもちろん持っていますが、商売として成り立つためには、お客様の立場に立って適正な価格で十分な商品やサービスを揃え、お客様へのアフターサービスを怠ることなく、しっかりと利益を出すことが大切です。ロータリーの職業奉仕の精神にも職業サービスを念頭に、相手の立場に立った職業活動を行い、相手の喜びを自分の喜びとしながら職業人としての倫理の向上に努め、世の中に広めていくという一節があるため、老舗企業の経営との共通点が見られると感じました。

本日は、老舗企業の経営理論から得たものを、ご自身の会社に照らし合わせていただくことで、会員の皆さまが思い描く職業奉仕とはどの様なものなのか、そして「全てのロータリアンの仕事は人の役に立つものであり、価値ある仕事である」ということの答えが出てくるのではないかと思っています。

テーブル①ファシリテーター

中村 典司 会員



企業経営で大切にしていることについては、多くの方が「三方よし」と言われました。

老舗企業のように地域に根ざして商売を継続させ、社会に奉仕していくために必要なことについては、誠実さという意見があり、いいかげんに見える人ばかりの豊橋RCですが、実は真面目な人が多く、豊橋に長期的に続いている企業が多いのはそれ故だと思います。

自身の会社がこれから更に社会に貢献し、繁栄するために実践したいことについては、これも「三方よし」からきていますが、利害関係者に寄り添い、地域と共に共栄し、仕入れ先や従業員であっても大切にする姿勢が大事だという意見が出ました。また、環境問題について会社が中心となり、従業員も交えて取り組んでいくこともこれからは大切だと思います。そして、それらについて自分自身の信念を持って行っていくことが重要ということで意見が一致しました。

テーブル②ファシリテーター

深見 博士 会員



企業経営で大切にしていることについては、職場を楽しくすることや、目標を明確化してそれを実践していくこと、緊張を和らげて働きやすい雰囲気を作っていく等が挙がりました。

老舗企業のように地域に根ざして商売を継続させ、社会に奉仕していくために必要なことについては、地域の信頼が大切という話や、社員が同じ方向を向いて仕事をしていくことや健全な経営を行うことで商売を継続していくという話がありました。また、このテーブルには医療従事者が3名いるため、地域の医療でのネットワークや連携を作っていくことが大切という意見もありました。他には、会社の中に神棚を持っていることも大切なのではないかという意見もありました。

自身の会社がこれから更に社会に貢献し、繁栄するために実践したいことについては、真面目に、愚直に実践をするという意見が一番多かったです。また、笑顔でいることで運が上がるため、いつも笑顔でいることも大切という話もありました。

テーブル③ファシリテーター

柳原 茂 会員



企業経営で大切にしていることについては、顧客に対する満足度を上げることや、来ていただいた方に気持ちよく帰っていただくということに配慮すること、お客様に対する信頼感という意見がありました。他には、自社の従業員や環境を大切にしているという意見もありました。

老舗企業のように地域に根ざして商売を継続させ、社会に奉仕していくために必要なことについては、大きな変革を恐れずに行っていくということや、サービス業ではお客様一人ひとりにしっかりと対応を行うことや、「三方よし」という意見がありました。

自身の会社がこれから更に社会に貢献し、繁栄するために実践したいことについては、社会に対するニーズは日々変わっているので、それをどの様に取り入れるかが大切だと思います。また、同族企業から近代経営に変えていくことや、我々中小企業では後継者も重要だという意見がありました。

テーブル④ファシリテーター

小笠原 貴洋 会員



企業経営で大切にしていることについては、まず「三方よし」です。売り手や買い手だけでなく、世間の役に立つ仕事をすることを第一に考えられている方がほとんどでした。一人ができる仕事というのは限られているので、チームとして誰かのために仕事をするというスタンスであることと、職責を忘れずに依頼者の役に立つことが大切だと思います。そのことが職業の品位を保つことにつながります。

老舗企業のように地域に根ざして商売を継続させ、社会に奉仕していくために必要なことについては、変化に対応する中で、相手のことを深く理解して相手のためになるかを考えて仕事に取り組むことが大切だと思います。

自身の会社がこれから更に社会に貢献し、繁栄するために実践したいことについては、依頼をされた方にとって豊かな人生となるような仕事を提供するために、まごころを持って相手に接することと、裏表なく常に相手のことを考えて仕事に取り組むことが大切だと思います。

テーブル⑤ファシリテーター

池田 勝年 会員



企業経営で大切にしていることについては、あまねく公平や、バランス感覚、顧客満足度、社員の成長、資金繰りという意見がありました。

老舗企業のように地域に根ざして商売を継続させ、社会に奉仕していくために必要なことについては、その企業が地域にとって安心感のあることや、社会的に認知されているということ、地域の役に立っているかということが大切だという意見がありました。また、社員の雇用を維持すること、社員の生活を守ることという意

見には皆さん共感されました。

自身の会社がこれから更に社会に貢献し、繁栄するために実践したいことについては、少子高齢化やサービスの多様化に、企業としても価値観を変えて、スクラップアンドビルドで対応しなければならないという意見が出ました。ただ、最終的に一番納得性があったのが、お金儲けという意見です。人や心も大切ですが、企業を維持していくためにはお金も大切だと思います。

アドバイザーによるまとめ 松坂 良太 アドバイザー



それぞれのテーブルを見ていましたが、皆さまが活発にお話をされていて、やはりお仕事に対する思いが強いのだと感じました。

本日の皆さまのお話についてまとめさせていただきます。中村会員のテーブルからは、地域への強い思いについてのお話を聞かせていただきました。深見会員のテーブルからは、会社に神棚があるお話を聞かせていただきましたが、これは真面目な会社にするための拠り所になるのではないかと思います。柳原会員のテーブルからは、来ていただいた方に気持ちよく帰っていただくというお話でしたが、私のような小さな事務所では、これは一番大切なことだと思います。小笠原会員のテーブルからは、時代に合った変化をするが、相手のためになるかどうかを考えて取り組むというお話からは、ロータリーの格言を感じました。池田会員のテーブルからは、現場のことに耳を傾けるというお話があり、これは良い企業を作っていくベースになるのではないかと思いました。また、何名かの方から「三方よし」というお話が出てきましたが、これに関しては高須会員が得意なところなので、またどこかでお話を聞ければと思います。

お礼の言葉

中根 研一 フォーラムリーダー

私も税理士という立場で「租税正義」の実現を目指して、社会に貢献するという立場で仕事をさせていただいているが、本日の職業奉仕のフォーラムは様々な職業の方がそれぞれの立場でお話ををしていただき、とても勉強になりました。狭い世界で仕事をしていると、周りが見えないことが常ですが、この様な場でお話をさせていただくことも勉強になりました。皆さんも本日学んだことを明日からの仕事に活かしていただければと思います。本日は皆さまでありがとうございました。

フォーラム主催者挨拶 佐藤 裕彦 R情報・ラーニング委員長

本日もここにいらっしゃる参加者全員が双方向に意見交換ができ、活性化されたクラブフォーラムが開催できたのではないかと思います。このままクラブ全体が更に盛り上がっていきことを信じています。次回は、来月に国際奉仕についてのフォーラムと同じ形式で開催する予定ですので、楽しんでいただければと思います。



例会の様子

※テーブル⑥～⑨の発表は、QRコードよりご覧ください。

会長挨拶

紅林 友昭 会長

過去2回のクラブフォーラムは、皆さんにあらかじめ設問が送られており、フォーラムでの最初のグループディスカッションでその設問の回答を各々発表し、最後にテーブルごとに出た意見を皆の前で発表するという形で開催されました。このファシリテーター1名を進行役として配置するディスカッションは「RLI方式のディスカッション」の形を少し変えて実施しています。

実際のRLI方式は、あらかじめ決められたテーマについて、1テーマ50分間のディスカッションを行います。ファシリテーターは単なるディスカッションの司会・進行役にとどまらず、参加者から意見を上手く引き出したり、まとめ役として能力を発揮できるよう研修を受けています。これは一人でも多くの会員がロータリーにおいてリーダーシップを発揮できるように、「トレーニング」のような「受動的な研修」から「能動的に自ら学ぶ」という形態に変わってきたことにも起因します。

「RLI」というのは「Rotary Leadership Institute ロータリー・リーダーシップ研究会」の頭文字を取ったものです。なんだか難しそうに感じるかもしれません、実際に参加してみると、自分の考えを短時間にまとめて発表し、一緒にディスカッションに参加している人たちからロータリーについて様々な考え方を聞くことができ、ロータリーの理解がより深まったり、他のクラブの参加者と親しくなれたりとメリットがたくさんあります。

是非本日のグループディスカッションに積極的に参加していただき「職業奉仕」についての理解を大いに深めていただきたいと思います。

会長報告

ロータリー日本財団より、マルチプル・ポール・ハリス・フェロー（1回目）の中田昌宏会員と、ポール・ハリス・フェローの村雲晃会員宛に、認証状と認証ピンが届いております。

幹事報告

伊藤 晴康 直前幹事

豊橋RAC創立50周年記念式典のご案内がお届いております。1月21日に会員の皆様へご案内を差し上げました。出欠のご連絡は、事務局までお願いいたします。

3月15日（土）13:00～ 豊橋商工会議所

ニコニコBOX

松岡 真由美 ニコニコ委員長

- 中根研一委員長、本日のフォーラムよろしくお願ひします
紅林 友昭 会長 青木 良浩 幹事
- 所用で幹事・副幹事とも欠席いたします。伊藤晴康直前幹事には幹事代行を、宮田正人プログラム委員にはプログラム委員長代行を、よろしくお願ひいたします
青木 良浩 幹事 山本 貴浩 プログラム委員長
- 久しぶりに幹事報告をさせていただきます
伊藤 晴康 直前幹事
- 20年ぶりにプログラム委員長の仕事をいたします。
フォローラム発表者の方は時間を大切に使ってください
宮田 正人 プログラム委員
- 本日のクラブフォーラムを主催させていただきます。お手柔らかによろしくお願ひします
佐藤 裕彦 R情報委員長 兼 ラーニングファシリテーター
- 本日のフォーラムリーダーを務めさせていただきます
中根 研一 職業奉仕委員長
- 本日のクラブフォーラムで、アドバイザーを務めさせていただきます
松坂 良太 会員

- 会葬御礼 伊藤 恭三 会員
(順不同)

お誕生日おめでとうございます

青木 公貞 会員(1月24日)

黒谷 尚弘 会員(1月24日)

柳原 信行 会員(1月28日)

歌

ソングリーダー 佐藤 裕彦 会員

「雪」

本日のビジター

豊橋北RC 4名 豊橋南RC 1名
計 5名

出席報告

河合 勝男 出席委員

当日出席者	58名	計算会員数	87名中29名欠席
総会員数	110名	出席率	66.67%

理事会開催予定

第8回理事会

2月6日（木）13：40 4Fグリーンルーム

例会予定

次回のプログラム

1月30日（木）年男放談①

- 2月6日（木）年男放談②
- 2月13日（木）インターAKT卒業生を送る会
- 2月20日（木）卓話「国内でできるロータリークラブ国際奉仕活動」

写真の閲覧はこちらから▶

事務局：豊橋市花田町石塚42-1 豊橋商工会議所内

